

狭山市健康づくり審議会会議録

開催日時 令和7年3月12日（水）午後1時30分から午後2時22分まで
開催場所 狭山市産業労働センター2階 異業種交流スペース
出席者 関屋委員、山崎委員、青柳委員、浦野委員、齊藤(展)委員、伊藤委員、八木委員、鈴木委員、岩崎委員
欠席者 茂出木委員、佐藤委員、田中委員、平沼委員、齊藤(美)委員、百瀬委員
事務局 大谷健康推進部長、吉村健康推進部次長、岩田健康づくり支援課長、高見健康づくり支援課主査、佐藤同主査、井ヶ田同主事
傍聴者 無
報道関係者 無

議 題 (1) 狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 実施方針(案)について
(2) その他

(1) 「狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 実施方針(案)」について、事務局より説明

【質 疑・意 見】

- 委 員 eスポーツには個人的には興味がある。室内で健康づくりをできる施設であれば、いい施設になると思われる。
- 委 員 デジタルコンテンツを導入する部分に興味があり、聞かせていただいた。現状は、スマートフォンと連動させる構想だと思われるが、今後の普及が見込まれるウェアラブルウォッチやスマートリング等との連動まで想定されるとなおいと思われる。
- 委 員 率直に、サピオのプールがなくなることはショックである。新しい施設は、子どもが天候に関係なく、アスレチックで遊べるというのはいいと思った。デジタルを扱った部分についても、これからのIT社会に向けて良いと思った。しかし、プールと浴室がなくなるということについてはショックが大きい。プール、お風呂は経費がかかるものであることは分かっているものの、プールを備える施設というのは市内に非常に少ない。過去に歩くのが困難な家族に対し、医師から全身運動をするよう助言を受けた。その時に利用したのがプールだった。そういった部分では、陸上では運動がしづらい年配の方なども非常にいらっしゃるのかな、ということ考

えたとき、年齢、性別、障害の有無に関わらずということであれば、この案でいいのか、という感想を持った。

委員 ずっと狭山市に住んでおり、若い頃に子どもと一緒に何度か利用した経験があり、プールがなくなるということを聞いたとき、残念に思った。しかし、説明を聞き、そういった施設が狭山市にできることについては期待をもっている。デジタル技術を活用した施設ということであり、若い方々は慣れていると思われるが、高齢者の方は追いついていけないことが想定されるので、サポートしていただける方を何人か常駐されると利用者とは助かるだろうと思う。

委員 映像を見たら非常に楽しそうだった。子どもから高齢者まで参加できることは大変良いと思ったが、高齢者に関しては転倒のリスクとかの面も考えるべきである。その辺りがクリアできれば非常にいいと思う。

委員 現施設について、子どもと孫はよくプールを利用している。昔はデイサービスにも行っていたが、新しい内容についてはよくわからない。ただ、私は高齢者であり、今後、免許返納をした後は、どうやって施設に行こうかと思った。

委員 ずっと狭山市に住んでおり、アスレチックと聞くと、入曽にあったアスレチックパークを思い出す。今回、室内で新しくアスレチックができ、デジタルコンテンツも取り扱うので、人が集まるのだろうなと思った。改修後の施設には期待をしている。しかし、アスレチック機能で体を動かす際には、事故、ケガはつきものだと思われるため、そういったものの排除、転倒、ケガに対するリスクを考えてほしい。

委員 寂しい気持ちはあるが、楽しみでもある。楽しそうな映像であったので、これからに期待したい。私の立場から言わせてもらえば、地域住民が交流して、繋がって、より活動ができるというのが理想であるため、そういった地域活動の拠点にもなるようなスペースがあるとよい。

委員 今、週に 2 回ぐらいスポーツジムに行っている。ジムに行くと高齢者用の教室とかがある。改修後の施設についてはそういう事業は考えていないのか。

事務局 民間事業者の提案の中で入ってくる可能性はある。いただいたご意見につきまして、お話をさせていただくと、プールについては、皆さんが楽しんで来られ、本当に残念ではあると思う。施設の老朽化が進んでおり、金額もかかるため、維持することは難しい状況である。現在のサピオは、半分以上が市外の方の利用であり、改修後の施設については、今までサピオを使ってなかった狭山市民を増やし、全世代で使ってもらえるような施

設にしていきたいなと考えている。これからの民間事業者による提案において、安全には気を付けてほしいというご意見については、十分事業者には考えていただき、いい施設にしていきたいと考えている。

事務局 先日行ったサピオでの利用者説明会において同じような説明をし、プールはぜひ残してもらいたいという意見がたくさんあった。その中で、サピオは確かに老朽化していて、今、改修をしないといけないこと、当初はプールを存続したまま改修する方向で検討し、事業者にヒアリングをしたものの、プールを継続して事業実施を希望する事業者がなかったこととお話させていただいた。このままだと改修及び施設の維持ができなくなってしまう中で、心苦しいが、プールやお風呂は廃止し、健康増進施設という目的は維持することとし、現在の案を出している旨を説明した。また、データとして、水泳をされる方は、70 歳ぐらいでは非常に少なく、85 歳ぐらいではほとんどいないこと、狭山市の 65 歳以上の高齢者割合が今は 32.3%であり、これから 10 年ぐらいかけて、その率はさらに上がっていくことを踏まえ、できるだけ多くの方に利用していただくために、プール以外で健康増進ができる方法を考え、現在の案を出している旨を説明した。本日様々なご意見をいただき、転倒の可能性とか、交通手段等、課題が提示された。具体的な内容については、民間事業者に提案を求めるが、目指す方向は市が示すものであるため、今いただいたご意見を反映させられるものは反映し、実施方針を策定したい。

水中のウォーキングに関しては、75 歳ぐらいまでから、取り組まれる割合が若干増えていくという最近のデータがある。これについては、場所は遠くなってしまうが、奥富にサンパークという施設があり、こちらも同じように歩くことができるので、そちらをご利用いただくこと、あるいは民間のプールをご案内させていただきたいと考えている。

いずれにしても、健康増進施設ということは変わらずに維持していきたいと思っているので、今後も注意したほうがよいことや、よりよい事例等について情報があれば、事務局にお知らせいただきたい。

他に質疑等はなく、説明内容を了承いただいた。

(2) その他について、事務局及び委員からの提案はなかった。

他に質疑はなく議事はすべて終了となる。